

日本文化

公益財団法人 日本文化興隆財団

<https://www.nihonbunka.or.jp/>

田んぼ学校

田植え 令和7年6月15日

令和六年度事業報告書（令和六年七月～令和七年六月）

公益財団法人日本文化興隆財団

公益財団法人日本文化興隆財団

令和6年度 事業報告書

（令和6年7月～令和7年6月）

公益財団法人日本文化興隆財団



## 当財団の事業体系

公益目的事業1	日本の伝統精神と文化を伝える事業	
	1 日本文化の興隆事業	(1)田んぼ学校 (2)日本文化セミナー (3)鎮守の森保全活動
	2 季刊誌『皇室』の頒布普及事業	季刊誌『皇室』の編集・発行
	3 検定事業	神道文化検定（神社検定）の実施 セミナーの開催
	4 皇室敬慕に関する事業	皇居参賀奉祝事業（一般参賀）
公益目的事業2	国旗小旗の無償頒布を通じた国旗啓発事業	
公益目的事業3	国民の健全育成事業	(1)硫黄島訪島事業 (2)建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト後援
収益事業1	物品頒布事業	
収益事業2	テナント及び貸会議室の施設運営	

## 令和6年度 公益目的事業1

## 日本の伝統精神と文化を伝える事業

### 1 日本文化の興隆事業

#### (1)

# 田んぼ学校

主催：日本文化興隆財団  
協力：古宮神社・農協観光株式会社  
國學院大學

日本の伝統精神や文化を「米作り」の体験を通して学ぶ「田んぼ学校」を第16回は、令和6年9月29日(日)に稲刈り、第17回は、令和7年6月15日(日)に田植えを開催した。

収穫した稲穂は、事務局で取りまとめ、神宮の神嘗祭に懸税として奉納している。

第17回より、田植え、稲刈り別々の申し込みを可能にしたほか、新宿発の送迎バスを熊谷駅発に変更し、関東広範囲からの参加者を募った。

参加者：一般31名・國學院大學24名・スタッフ44名 計99名  
参加費：田植え編 大人7,500円税込・小人5,000円税込  
稲刈り編 大人7,500円税込・小人5,000円税込  
田植え編・稲刈り編セット 大人13,500円税込・小人8,500円税込

◆第16回（稲刈り編）  
日時：令和6年9月29日(日)  
内容：稲刈り体験（稲刈り・はさかけ・コンバインでの稲刈り見学）  
お米と祭りの話（講話：茂木貞純宮司）  
脱穀・粳摺り・精米体験（指導：佐久間事務局長）  
豊作感謝祭（古宮神社）

◆第17回（田植え編）  
日時：令和7年6月15日(日)  
内容：豊作祈願祭（古宮神社）  
田んぼの話（佐久間事務局長）  
お米と祭りの話（茂木貞純宮司）  
ポン菓子づくり見学と体験  
田植え体験（小人対象に白丁・早乙女衣装装着で体験）



令和6年稲刈編



令和7年田植え編

## 令和6年度 公益目的事業1

## 日本の伝統精神と文化を伝える事業

### 自宅で学ぶ米作り

# おうちで田んぼ学校

バケツで稲作体験ができる稲作栽培体験セットを制作した。参加者は収穫まで稲の成長記録をX（旧Twitter）で投稿し、参加者間で米作りの情報共有を通しながら稲作を学ぶ場となっている。収穫した稲穂は、事務局で取りまとめ、神宮の神嘗祭に懸税として奉納した。

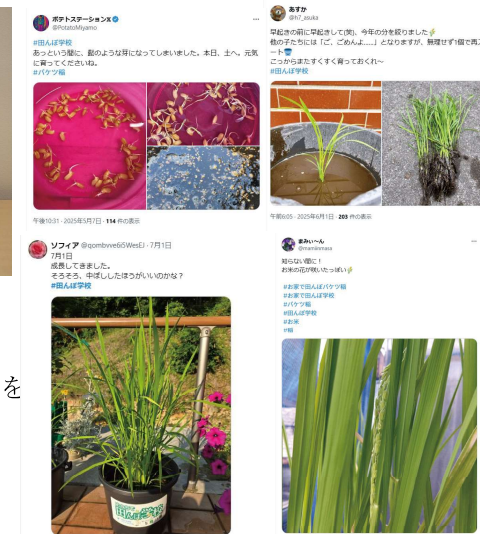
参加者：18名

参加費：3,850円 税送料込



### セット内容

- 種もみ（彩のきずな）
- 肥料
- 土（黒土・赤玉土・鹿沼土を適量ブレンド済）
- バケツ（10L）
- おうちで田んぼ学校説明書
- 稲づくりマニュアル
- 絵本『いただきます』



### (2) 日本文化セミナー

各種セミナーの開発に努め、歴史や伝統文化に培われた我が国固有の精神文化を学ぶ独自の講演会及び、各種研修会等を開催する目的から、以下のセミナーを開催した。

### ◆連続講座「日本の四季と神と祭り」を開催

日本の年中行事や神社のお祭りについて全12回にわたる講座を開催し、令和6年度は6回開催した。

講師：加藤健司氏（当財団評議員）

参加者：各約30名

会場：日本文化興隆財団会議室

◇第1回 季節感を失った年中行事

日時：1月25日（土） 15時15分～16時45分

◇第2回 上巳節供 花宴（梅花・桜花）

日時：2月22日（土） 13時30分～15時

◇第3回 「祭」の語義と令制の祭り

日時：3月22日（土） 13時30分～15時

◇第4回 端午節供 田植儀礼

日時：4月19日（土） 13時30分～15時

◇第5回 半歳周期 祈年祭と月次祭

日時：5月24日（土） 13時30分～15時

◇第6回 七夕 相撲

日時：6月28日（土） 13時30分～15時

### (3) 鎮守の森保全活動

### ◆第19回 筑波山水源の森づくり -筑波山神社の鎮守の森で植樹体験-

当財団とNPO法人地球の緑を育てる会、筑波山神社との共催で、令和7年5月25日(日)に「筑波山水源の森づくり」を開催した。

当日は約200名が参加し、約600本の常緑広葉樹を植樹した。

筑波山神社社叢の一部は、戦後に植林された人工林が多く、国内林業衰退により、長年放置されてきた状況から、宮脇昭氏の潜在自然植生の森づくりによる、筑波山本来の自然に近い広葉樹林化に誘導する長期にわたる森づくり計画を継続している。

日時：令和7年5月25日(日) 午前8時～12時

場所：筑波山神社社叢（女体山の一部）

指導：藤原一絵（横浜国立大学名誉教授）

石村章子（NPO地球の緑を育てる会理事長）

他同NPO団体森林指導員

佐久間宏和（日本文化興隆財団）

共催：日本文化興隆財団・NPO地球の緑を育てる会・筑波山神社

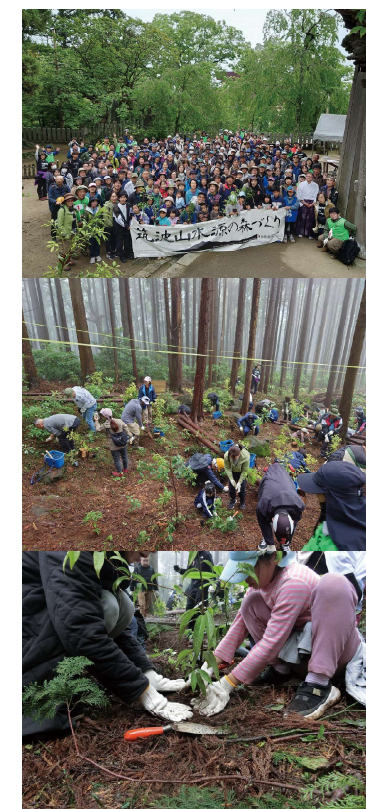
協賛：伊藤園

後援：茨城森林管理署

後援：明るい社会づくり筑浦協議会・土浦ライオンズクラブほか

参加費：無料（おむすび・お茶付）

参加者：200名+スタッフ50名





## ◆鎮守の森植樹祭開催地の現状調査

平成24年6月から平成27年6月の3年間にわたり、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏指導のもと東日本大震災で被災した全11箇所の神社において計21,318本の常緑広葉樹を主体に植樹祭を開催し、以降補植を含めた森の育成観察を継続しているが、植栽地の現地生育調査は、令和6年度は行わず、NPO法人地球の緑を育てる会と令和7年度に調査を行う。



宮城県・八重垣神社

## 2 季刊誌『皇室』の頒布普及事業

## 季刊誌 皇室

## 財団内に編集部を全面移転

## 季刊誌『皇室』編集部移転および継続出版に関する報告

季刊誌『皇室』は、平成14年の創刊以来、扶桑社に編集部を置き、皇室に関する貴重な記録と情報を発信してきたが、昨今の物資高騰、出版業界全体における購読者数の減少等、厳しい出版環境の影響を受け、扶桑社との協議の末、令和6年度に編集部が当財団に全面移転した。編集部移転に関しては、1年以上にわたり扶桑社と慎重な協議を重ね、諸条件を検討・調整の上、編集部員全員が当財団に移籍し、103号（令和7年7月号）より当財団による発行体制の確立を目指し、令和6年度は、103号から106号を刊行した。

同誌は、日本で唯一の皇室専門誌として本誌の継続出版は、当財団に課された重要な責務であり、出版の意義と使命は一層重要度が増している。この状況を踏まえ、今後も『皇室』の継続的な刊行に向けて、万全を尽くして取り組んでいく。

また、継続的な一般財団法人日本宝くじ協会の支援により、公益活動として、全国公立図書館3,000箇所、自治体議会図書館400箇所、計3,500箇所への寄贈活動を行っているほか、他団体への頒布協力、ホームページのリニューアル作業、SNSを活用した広報など不特定多数に向けた広報活動を行う。

## 【103号(令和7年7月号)からの新たな発行体制】

発行人：佐久間宏和（当財団事務局長）

編集人：伊豆野誠（季刊誌『皇室』編集長）

編集：岡田尚子・中尾千穂（季刊誌『皇室』編集スタッフ）

写真：産経新聞写真報道局・宮内庁・日本雑誌協会など

発売：株式会社扶桑社（書店販売のみ委託継続）



## 第106号（令和7年春号）

- ◇天皇・皇后両陛下 硫黄島ご訪問
- ◇悠仁親王殿下 ご成年をお迎えになつての記者会見
- ◇佳子内親王殿下 30歳のお誕生日をお迎えに
- ◇連載 第63回 神宮式年遷宮 第1回 木曾谷と裏木曾二つの御杣山を訪ねて



## 第104号（令和6年秋号）

- ◇皇室のご動静スペシャル
- ◇被災地神社復興ルポ「能登半島地震編①」
- ◇神宮の祭り 第4回 神宮神田の祭り
- ◇尼門跡寺院の美と文化 霊鑑寺「谷の御所」幽谷の景に抱かれた御殿



一般財団法人日本宝くじ協会助成事業



新ホームページ「どんぶくの森」でWEBならではの「皇室」の情報も満載  
令和7年7月25日より公開



## 第105号（令和7年冬号）

- ◇天皇・皇后両陛下 奥能登豪雨被災地お見舞い
- ◇三笠宮崇仁親王妃百合子殿下 薨去
- ◇敬宮殿下 初の単独地方公務で佐賀県へ
- ◇秋篠宮皇嗣・同妃両殿下 トルコご訪問
- ◇神宮の祭り 第5回 御塩と御酒の祭り



## 第103号（令和6年夏号）

- ◇天皇・皇后両陛下イギリスご訪問
- ◇佳子内親王殿下ギリシャご訪問
- ◇両陛下、再び奥能登へ
- ◇敬宮殿下もデビューした春の園遊会
- ◇敬宮殿下 社会人として歩みだされて

## 3 検定事業

## 第13回神道文化検定（神社検定）

## 会場受検を再開・オンラインも継続で開催



同検定は、神道に対する正しい知識と日本文化の啓発を目的に、神社本庁が監修、國學院大學、皇學館大学、一般財団法人神道文化会が後援し、令和7年6月29日（日）に全国33会場、オンライン含め2,876名が受検し、前年比453名の増加となった。内会場受検者数は1,337名、オンライン受検者数は1,539名で、第1回からの総受検者数は約48,000名となった。

試験問題は、全て公式テキストから出題され、これまで計15冊のテキストが出版されているが、累計発行部数は27万部を超えた。

また、受検者を対象とした各種セミナーなども開催し、令和6年度は、累計1,700名以上が受講した。

合否判定は、令和7年7月28日（月）にオンラインで公表され、郵送での成績通知は9月中旬を予定している。



人気アニメキャラクター「鷹の爪団」とコラボ



國學院大學会場

受 検 料	初 級	3,800円(税込)
	参 級 (3級)	5,900円(税込)
	式 級 (2級)	7,000円(税込)
	壹 級 (1級)	8,000円(税込)
	初級・参級(初級・3級) 併願割引	8,700円(税込)
	参級・式級(3級・2級) 併願割引	11,800円(税込)

## 級別 公式テキスト適合表 〇：問題出典テキスト

タイトル	初級	参級	式級	壹級
神社のいろは	—	●	—	—
神話のおへそ	—	—	—	—
神社のいろは 続	—	—	●	—
遷宮のつば	—	—	—	—
神社のいろは要語集 宗教編	—	—	—	●
日本の祭り	—	—	—	—
神社のいろは要語集 祭祀編	—	—	—	—
万葉集と神様	—	—	—	—
神話のおへそ『古語拾遺』編	—	—	—	—
神話のおへそ『日本書紀』編	—	—	—	—
神社のいろは特別編 伊勢神宮と、遷宮の「かたち」	—	—	●	●
マンガならわかる!『日本書紀』	—	—	—	—
マンガ版 神社のいろは	●	—	—	—
マンガならわかる!『古事記』	—	●	—	—
令和のご大礼 完全版	—	—	—	●
皇室 103号	—	—	●	●
皇室 104号	—	—	●	●
皇室 105号	—	—	●	●
皇室 106号	—	—	●	●

## 合格者特典

## 絵馬型認定証



## 認定カード



## 紙製認定証





## 神社検定受検者向けセミナーの開催

### ◆第53回「初穂曳」に参加

神宮神嘗祭にあわせ、初穂を伊勢の神宮の両宮に捧げ神恩に感謝し、お木曳行事の継承を図ることを目的開催される「お木曳行事」に神社検定合格者限定で特別神領民として参加した。

また、壹級合格者20名限定で「神嘗祭由貴夕大御饗」（外宮）の奉拝もおこなった。

その他外宮・内宮で御垣内参拝、御神楽奉納（内宮）など、神宮で新穀感謝の心と神宮神嘗祭に触れるセミナーとなった。

主 催：神社本庁・一般財団法人伊勢神宮崇敬会・伊勢神宮奉仕会

協 力：全国神社総代会

日 時：令和6年10月15日（火）

【初穂曳】8:30～16:30

【神嘗祭由貴夕大御饗奉拝】21:00～23:00

会 場：神宮・神宮会館

参加者：100名（神社検定合格者）



初穂曳

### ◆奈良・談山神社《満月の夜の特別参拝》開催

飛鳥の東方にそびえる多武峰の山の中に鎮座する談山神社で、浄閑の境内で満月と提灯の明かりを手掛かりに勅使の間での特別参拝、談峯如意輪観音菩薩坐像の特別公開、神職による境内案内、明かりを落とした本殿で大祓詞、巫女舞など神社検定受検者を対象とした特別セミナーを開催した。

主 催：日本文化興隆財団

協 力：談山神社

日 時：令和6年10月17日（木）17:30～21:00

会 場：談山神社（奈良県桜井市）

参加者：49名



談山神社

### ◆第13回神社検定受検対策ガイドの開催

神社検定受検対策ガイド「神社検定のすゝめ」

これまで出題された問題の傾向やポイント、公式テキストの読み進め方などを各級ごとにガイドする講座を開催した。

講 師：伊豆野誠氏（当財団編集長）

日 時：令和7年1月25日（土）13時30分～15時

会 場：日本文化興隆財団会議室

参加者：80名



皇學館大学

### ◆「伊勢・皇學館大学で学ぶ 神道いろは」開催

皇學館大学の教授陣による神道の祭りや歴史、古事記、日本書紀の神道古典など、神道の知識を学び、大学内にある神道に関連する施設などを見学するセミナーを開催した。

共 催：日本文化興隆財団・皇學館大学

日 時：3月8日（土）・9日（日）10時～16時30分

会 場：皇學館大学

内 容：①大学内の神道博物館を教授及び学芸員による解説付ツアー

②祭式教室の特別見学と作法の解説

③皇學館大学の教授陣による神道の祭りや歴史、古事記、日本書紀の神道古典から神道の基本的な知識を学ぶ講座

3月8日（土）①「神社祭式の成り立ち」 田井健治助教

②『古事記』 松本 丘教授

3月9日（日）①「近現代の神道」 高野裕基助教

②『日本書紀』 松本 丘教授

参加者：各50名

◆藤原鎌足公ゆかりの地「談山神社と飛鳥をウォーキングで巡る」開催  
世界文化遺産候補「飛鳥・藤原の宮都」を藤原鎌足公ゆかりの地「談山神社」と「飛鳥」をウォーキングで巡るセミナーを開催した。

主 催：日本文化興隆財団

協 力：談山神社

日 時：令和7年3月15日（土）10時～17時

会 場：談山神社（奈良県桜井市）

内 容：①藤原鎌足公を祀る談山神社で境内案内及び正式参拝

②談山神社に里帰り中の奈良国立博物館所蔵「多武峯縁起絵巻」の特別公開（室町時代絹本）

③乙巳の変のおよそ1ヶ月前、中大兄皇子と中臣鎌足が、大化の改新について密談をしたといわれる談山と御破裂山に登拝

④帝塚山大学考古学研究所特別研究員の甲斐弓子先生の解説で飛鳥の藤原鎌足公ゆかりの地をウォーキング

参加者：30名



飛鳥ウォーキング

### ◆埼玉県神社庁主催「神主さんと神社を学ぼう」に参画

会場内にブースを設置して同検定告知及び「おためし神社検定」を開催し、約500名が受検した。

主 催：埼玉県神社庁

日 時：令和7年3月30日（日）9時30分～16時

会 場：武蔵一之宮氷川神社参道及び境内

内 容：社務所内に同検定ブースを設置し、不特定多数の来場者に10問の検定問題に回答してもらい7問以上の正解で粗品を贈呈した。

会場内では、埼玉県内各社の御朱印を一堂に会した「埼玉の神社御朱印展」、氷川神社参道『氷川マルシェ』と称して、埼玉の有名店が出店した食の祭典も開催された。

参加数：約500名（おためし神社検定受検者数）



神主さんと神社を学ぼう

◆見て触れて学ぶ「神社のいろは」in 國學院大學祭式教室 開催  
テキストだけでは知ることが出来ない神社の施設・備品・祭器具・祭服などの基本的な知識を実際に見て、触れて学んでいただく神社有職故実の入門講座を開催した。

主 催：日本文化興隆財団

日 時：令和7年5月10日（土）・11日（日）13時～16時30分 ※2回開催

会 場：國學院大學（東京都渋谷区東）

講 師：國學院大學神道文化学部准教授 星野光樹先生 他

参加者：各60名

内 容：①第一部 作法編

1. 手水の使い方 2. 拝礼作法・拍手 3. 修祓 4. 本殿の構造  
5. 神饌・伝供など

②第二部 有職故実編

1. 神職の持ち物、履き物 2. 神職の服装（冠・笏・浅沓）  
3. 巫女装束など

### ◆神道基礎講座の開催

多摩湖氷川神社より依頼を受け、崇敬者を対象に同検定の告知と神道の基礎知識講座を開催した。

主 催：多摩湖氷川神社

日 時：令和7年5月18日（日）10時～12時

会 場：多摩湖氷川神社社務所（東京都東村山市多摩湖町）

講 師：伊豆野 誠（財団編集長）・佐久間宏和（財団事務局長）

内 容：神社検定初級対策セミナー・神社入門講座

参加数：20名

参加費：無料



見て触れて学ぶ「神社のいろは」



◆第13回神社検定対策講座開催

第13回神社検定受検者向けに過去に出題された問題を中心に、出題の傾向やポイント、テキストの読み進め方などを解説する講座を各級ごとに開催し、後日アーカイブ配信も行った。

主 催：日本文化興隆財団

日 時：壹級 令和7年 5月30日(金)19時～20時30分

貳級 令和7年 5月31日(土)16時～17時30分

参級 令和7年 5月31日(土)13時30分～15時

初級 令和7年 5月31日(土)11時～12時

講 師：伊豆野誠氏（当財団編集長）

会 場：日本文化興隆財団会議室

参加者：壹級 35名〔アーカイブ配信〕壹級110名（前年比＋42名）

貳級 34名〔アーカイブ配信〕貳級171名（前年比＋83名）

参級 20名〔アーカイブ配信〕参級241名（前年比＋166名）

初級 14名〔アーカイブ配信〕初級 99名（前年比＋31名）

受講者総数 724名

◆長野県・上松町「御神木祭」に協力

長野県の木曽谷国有林で神宮の御神木を伐りだす「御杣始祭」が行われるにあたり、長野県・上松町より、同町で行う「御神木祭」への一般参加者募集の告知依頼を受け、神社検定受検者に対し、ホームページ及びメールマガジンで、広く一般への参加者募集の協力を行うとともに、季刊誌『皇室』の取材のため、記者及び職員を派遣した。

主 催：伊勢神宮木曽奉賛会

日 時：令和7年6月4日(水)

場 所：長野県木曽郡上松町

参加者：約2,000人

○神社検定の広報について

◇WEB広告の実施

5月1日から6月10日にかけてGoogleにて広告配信を実施した。

神社関連に興味を持つ層に向けての配信が多く、年齢別項目では、前年より65歳以上が高いクリック率を獲得する結果となった。

	表示回数	クリック数	クリック率
全体	5,095,091	41,925	0.82%
神社関連	3,286,127	25,866	0.79%
歴史御関連	1,808,964	16,059	0.89%
計	5,095,091	41,925	
性別			
女性	3,286,127	25,866	0.79%
男性	1,808,964	16,059	0.89%
計	5,095,091	41,925	
年齢層			
年齢18歳～24歳	813,249	5,835	0.72%
年齢25歳～34歳	1,233,873	9,162	0.74%
年齢35歳～44歳	750,109	6,130	0.82%
年齢45歳～54歳	701,902	5,356	0.76%
年齢55歳～64歳	625,402	5,081	0.81%
年齢65歳～	970,556	10,361	1.07%
計	5,095,091	41,925	



対策講座



上松町「御神木祭」



Googlでの配信広告

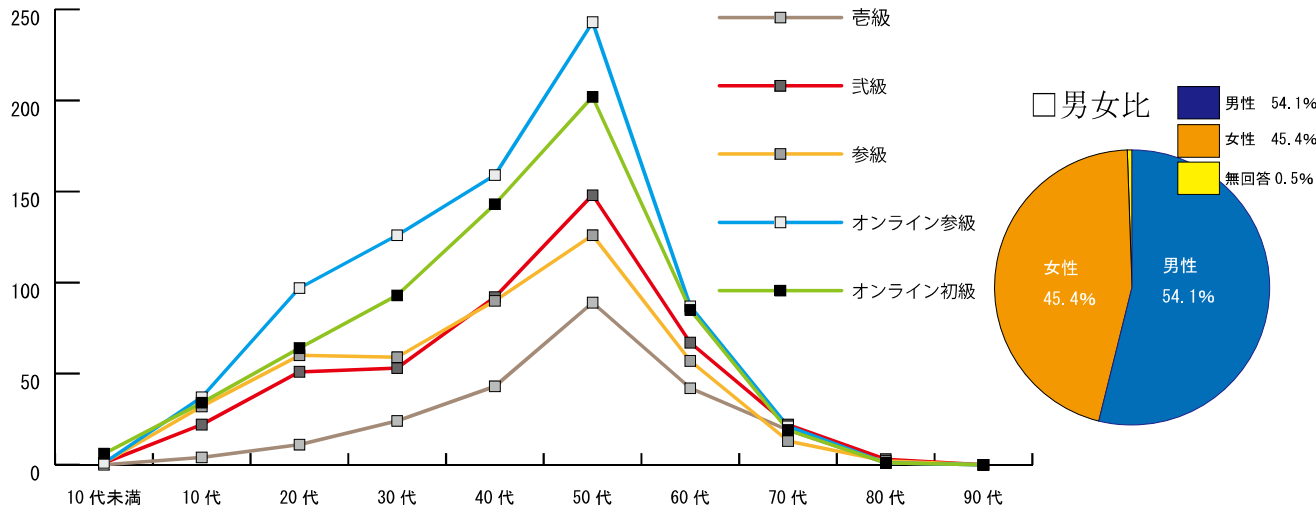
第13回神社検定 受検者統計

□受検者数と合格率

壹級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	250名	233名	163名	70.0%	75.6点 /100点
貳級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	549名	459名	252名	54.9%	68.4点 /100点
参級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	535名	440名	310名	70.5%	75.6点 /100点
オンライン参級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	840名	772名	542名	70.2%	76.5点 /100点
オンライン初級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	703名	647名	593名	91.7%	44.8点 /50点

□年齢別

壹級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	0名	4名	11名	24名	43名	89名	42名	19名	1名	0名	233名
貳級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	1名	22名	51名	53名	92名	148名	67名	22名	3名	0名	459名
参級	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	1名	32名	60名	59名	90名	126名	57名	13名	2名	0名	440名
参級 オンライン	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	1名	37名	97名	126名	159名	243名	87名	21名	1名	0名	772名
初級 オンライン	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	総計
	6名	34名	64名	93名	143名	202名	85名	19名	1名	0名	647名
	9名	129名	283名	355名	527名	808名	338名	94名	8名	0名	2,551名





□受検者数と合格者数（都道府県別）

	都道府県	老級			武級			参級			オンライン参級			オンライン初級			合計		
		申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者	申込者	受検者	合格者
1	北海道	4	3	2	12	7	5	20	14	10	19	19	14	14	14	13	69	57	44
2	青森県	0	0	0	1	1	0	2	2	1	3	3	0	3	3	3	9	9	4
3	岩手県	1	1	1	2	2	1	1	1	0	2	2	0	1	1	0	7	7	2
4	宮城県	2	2	2	8	7	5	9	8	6	12	10	5	16	15	14	47	42	32
5	秋田県	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
6	山形県	3	3	3	1	1	0	1	1	1	4	4	0	2	2	2	11	11	6
7	福島県	1	1	1	2	2	1	3	3	2	7	6	6	10	8	7	23	20	17
8	茨城県	4	4	1	8	3	2	10	7	4	15	15	10	19	19	18	56	48	35
9	栃木県	1	1	1	7	6	5	8	8	7	9	9	7	11	11	10	36	35	30
10	群馬県	1	1	1	5	4	1	6	6	1	10	10	5	12	11	9	34	32	17
11	埼玉県	23	23	16	50	46	25	44	32	26	90	82	58	81	74	67	288	257	192
12	千葉県	19	18	13	39	32	19	37	26	19	66	59	40	62	56	52	223	191	143
13	東京都	60	50	38	138	111	60	106	79	61	163	147	112	145	130	120	612	517	391
14	神奈川県	24	24	19	42	34	16	44	37	28	89	87	64	64	61	56	263	243	183
15	新潟県	5	5	1	5	5	3	6	6	4	10	9	5	7	6	5	33	31	18
16	富山県	1	1	0	6	4	3	3	3	3	8	7	4	9	6	6	27	21	16
17	石川県	2	1	1	4	4	2	2	2	1	6	6	4	4	4	4	18	17	12
18	福井県	4	4	4	1	1	1	1	1	1	4	4	3	1	1	1	11	11	10
19	山梨県	1	1	1	4	3	3	4	3	3	2	2	2	1	1	1	12	10	10
20	長野県	4	4	2	5	5	1	5	4	3	9	9	3	6	5	4	29	27	13
21	岐阜県	1	1	1	5	4	3	3	3	2	8	7	6	4	4	3	21	19	15
22	静岡県	8	8	5	14	13	8	15	14	10	19	16	11	12	9	9	68	60	43
23	愛知県	13	13	7	19	17	10	29	24	14	42	37	32	26	25	24	129	116	87
24	三重県	10	10	7	11	10	6	14	13	6	23	21	14	10	10	10	68	64	43
25	滋賀県	1	1	1	1	1	0	6	5	5	2	2	2	1	1	1	11	10	9
26	京都府	2	2	1	19	16	7	17	15	12	14	10	8	14	13	12	66	56	40
27	大阪府	14	13	9	45	37	23	42	38	24	56	52	37	44	41	39	201	181	132
28	兵庫県	9	9	5	21	17	10	16	14	9	34	31	21	28	27	23	108	98	68
29	奈良県	2	1	0	3	2	1	5	4	4	9	8	7	9	9	7	28	24	19
30	和歌山県	1	1	1	3	3	1	1	1	1	5	5	1	2	2	2	12	12	6
31	鳥取県	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0
32	島根県	1	1	1	1	1	0	2	2	1	2	2	1	2	2	2	8	8	5
33	岡山県	4	4	3	6	6	3	7	6	5	7	7	4	8	6	5	32	29	20
34	広島県	3	3	1	13	12	5	15	11	7	8	8	5	11	11	10	50	45	28
35	山口県	3	3	2	7	5	4	2	2	2	8	6	5	3	2	2	23	18	15
36	徳島県	0	0	0	1	1	1	2	2	1	3	3	1	1	1	1	7	7	4
37	香川県	1	1	1	7	6	1	8	8	3	10	7	4	7	5	4	33	27	13
38	愛媛県	3	3	2	1	1	0	1	0	0	4	4	3	2	2	2	11	10	7
39	高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	2	3	3	2
40	福岡県	6	6	5	18	15	8	19	17	12	28	28	23	31	30	29	102	96	77
41	佐賀県	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	2	2	2	2	2	5	5	5
42	長崎県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	0	2	2	1	7	6	4
43	熊本県	3	1	1	1	1	0	1	1	0	5	4	3	6	5	5	16	12	9
44	大分県	1	1	1	2	2	2	0	0	0	8	8	5	2	2	2	13	13	10
45	宮崎県	0	0	0	0	0	0	5	5	3	2	2	1	0	0	0	7	7	4
46	鹿児島県	1	1	0	7	7	3	10	9	5	6	6	2	6	6	4	30	29	14
47	沖縄県	0	0	0	2	2	1	2	2	2	3	3	2	0	0	0	7	7	5
	総計	250	233	163	549	459	252	535	440	310	840	772	542	703	647	593	2,877	2,551	1,860

□公式テキスト発行部数

公式テキスト	累計部数	版数	電子版	公式テキスト	累計部数	版数	電子版
神社のいろは	65,000	29	2,964	神話のおへそ『古語拾遺』編	8,900	6	
神話のおへそ	34,000	15	1,168	神話のおへそ『日本書紀』編	10,000	6	
神社のいろは続	24,000	8	1,332	伊勢神宮と、遷宮のかたち	6,500	3	314
遷宮のつぼ	18,000	2	584	マンガならわかる！『日本書紀』	8,000	5	3,312
神社のいろは要語集宗教編	6,600	8		マンガ神社のいろは	9,500	6	5,155
日本の祭り	9,000	1		マンガならわかる！『古事記』	7,000	4	663
神社のいろは要語集祭祀編	4,600	3		令和のご大礼完全版	3,500	1	
万葉集と神様	7,000	1		問題と解説（第1回～12回）	45,300	19	
神話のおへそ『古語拾遺』編	8,900	6		計	275,800		15,492

4 皇室敬慕に関する事業

本事業は、国民の皇室への敬愛の念を育む各種事業、広く国民にその趣旨を伝える奉祝事業を推進することを目的としている。

これまで、皇居一般参賀において国旗小旗の頒布を行ってきた一般社団法人国旗協会が解散したことを受け、これまで同協会を支援してきた諸団体と連携し、令和4年に皇居参賀奉祝委員会を結成。

令和5年1月2日の新年一般参賀及び2月23日の天皇誕生日の一般参賀から国旗小旗の配布活動を継続している。活動の原資は皇居参賀奉祝委員会に所属する各団体や一般からの寄附金を募るとともに、季刊誌『皇室』に寄附金の募集広告を掲載したほか、ホームページからも容易に寄附ができる専用サイトを制作するなど広く不特定多数に協力を求めた。

◆皇居参賀奉祝事業

主催：公益財団法人日本文化興隆財団

皇居参賀奉祝委員会（10団体）

不二歌道会・モラロジー道德教育財団・新教育者連盟  
東京都神社庁・東京都神社スカウト協議会・日本会議  
東京都本部・まほろば教育事業団・谷口雅春先生を学ぶ会・全日本学生文化会議・日本青年協議会

(1) 新年一般参賀

日 時：令和7年1月2日（祝・月）午前6時～午後4時

場 所：皇居桜田門・馬場先門・和田倉門参入口及び坂下門、桔梗門、大手門、乾門の退出口付近

配布数：49,400本（一般参賀者数：60,690名）**配布率81%**

助勢者：186名（皇居参賀奉祝委員会ボランティア）

(2) 天皇誕生日一般参賀

日 時：令和7年2月23日（祝・木）午前6時～午後1時

場 所：皇居桜田門・馬場先門・和田倉門参入口及び坂下門、桔梗門、大手門、平川門、北桔橋門の退出口付近

配布数：17,628本（一般参賀者数：18,240名）**配布率96%**

助勢者：255名（皇居参賀奉祝委員会ボランティア）

令和6年度総ボランティア数 441名



令和6年度 公益目的事業2

国旗小旗の無償頒布を通した国旗啓発事業

当財団の公益事業として、毎年全国の敬神婦人会のボランティアによる協力で小旗の奉製をして戴き、令和6年度は、54団体に57,680本を奉製いただき、国旗啓発事業として各申請団体に助成した。

《助成数》

令和元年度：申請受理件数 71件/申請本数 75,200件/助成本数 49,530本

令和2年度：申請受理件数 23件/申請本数 11,550本/助成本数 5,450本

令和3年度：申請受理件数 28件/申請本数 60,050本/助成本数 54,986本

※令和3年度は、42,550本を神道青年全国協議会の事業で使用

令和4年度：申請受理件数 29件/申請本数 10,400本/助成本数 7,590本

令和5年度：申請受理件数 42件/申請本数 64,180本/助成本数 59,003本

**令和6年度：申請受理件数 50件/申請本数 126,800本/助成本数 111,700本**





## (1) 硫黄島訪島事業

硫黄島渡島の貴重な体験と慰霊を通して、歴史と向き合い、確かな国家観を備えた人材を育成することを目的に、硫黄島での戦死者ご遺族、青少年を対象に、公益社団法人日本青年会議所と共催し、こども家庭庁と厚生労働省の後援を得て、令和6年度は、令和6年10月13日（日）～14日（月）に開催し同財団から硫黄島での戦死者ご遺族関係者を含めた28名が渡島した。

本事業では、参加されたご遺族へのインタビューなど当日の様様を取材し、ホームページで連載をしている。

日程：令和6年10月13日（日）～14日（月）※渡島は14日  
共催：公益財団法人日本文化興隆財団  
公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会  
後援：子ども家庭庁・厚生労働省  
参加条件：硫黄島での戦死者ご遺族関係者  
参加数：28名（ご遺族関係者・スタッフ・慰霊祭祭員）  
参加費：100,000円（返金額については精算中）  
行程：10月13日（日）  
15時 ご遺族関係者意見交換会  
17時 結団式  
10月14日（月）  
7時50分 航空自衛隊入間基地発  
10時30分 硫黄島着 島内研修視察  
14時 硫黄島戦没者の碑 慰霊祭  
15時30分 硫黄島発（C2輸送機）  
18時10分 航空自衛隊入間基地着



摺鉢山山頂から上陸海岸を眺める



## (2) 建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト後援

令和7年2月11日の建国記念の日に東京・表参道で開催された「建国メモリアル・ザ・マーチングコンテスト」を後援し、助成金の交付と国旗小旗の提供、審査員、職員の派遣をおこなった。

日程：令和6年2月11日 建国記念の日  
時間：9時30分～14時  
場所：表参道～明治神宮  
主催：日本の建国を祝う会  
後援：日本文化興隆財団  
協力：商店街振興組合原宿表参道櫺会  
東京都大学吹奏楽連盟  
参加団体：東京都神社スカウト協議会・きよし幼稚園  
CHIBAフォームバトン・相模原フォームバトン  
帝京大学学友会文化局吹奏楽部  
東海大学吹奏楽研究会  
専修大学吹奏楽研究会  
國學院大學体育連合会吹奏楽部  
早稲田大学応援団吹奏楽部  
立正大学吹奏楽部  
駒澤大学吹奏楽部



## 収益事業1

### 物品頒布事業

公益事業の推進に資するべく、日本文化に関連した各種取扱品の頒布及び企画、開発に努めた。特に皇室カレンダー、神社検定公式テキスト、真榊の受注が増加した。

## 収益事業2

### テナント及び貸会議室の施設運営

令和6年度は、貸会議室の利用件数が大幅に増加し（前年比125%増）となり、コロナ禍前の状況に回復した。特に平日の近隣企業の利用が増加したほか、長期利用及び定期的な利用が増加した。

#### (1) テナント事業

利用状況と入居団体

- 101号室 物品発送室として使用
- 201号室 事務局
- 202号室 空室（貸会議室4として使用）
- 203号室 季刊誌『皇室』編集室
- 204号室 一般社団法人日本国際文化協会  
世界連邦日本宗教委員会  
日本フィンランド文化友好協会
- 205号室 公益社団法人全日本仏教婦人連盟
- 206号室 有限会社村上

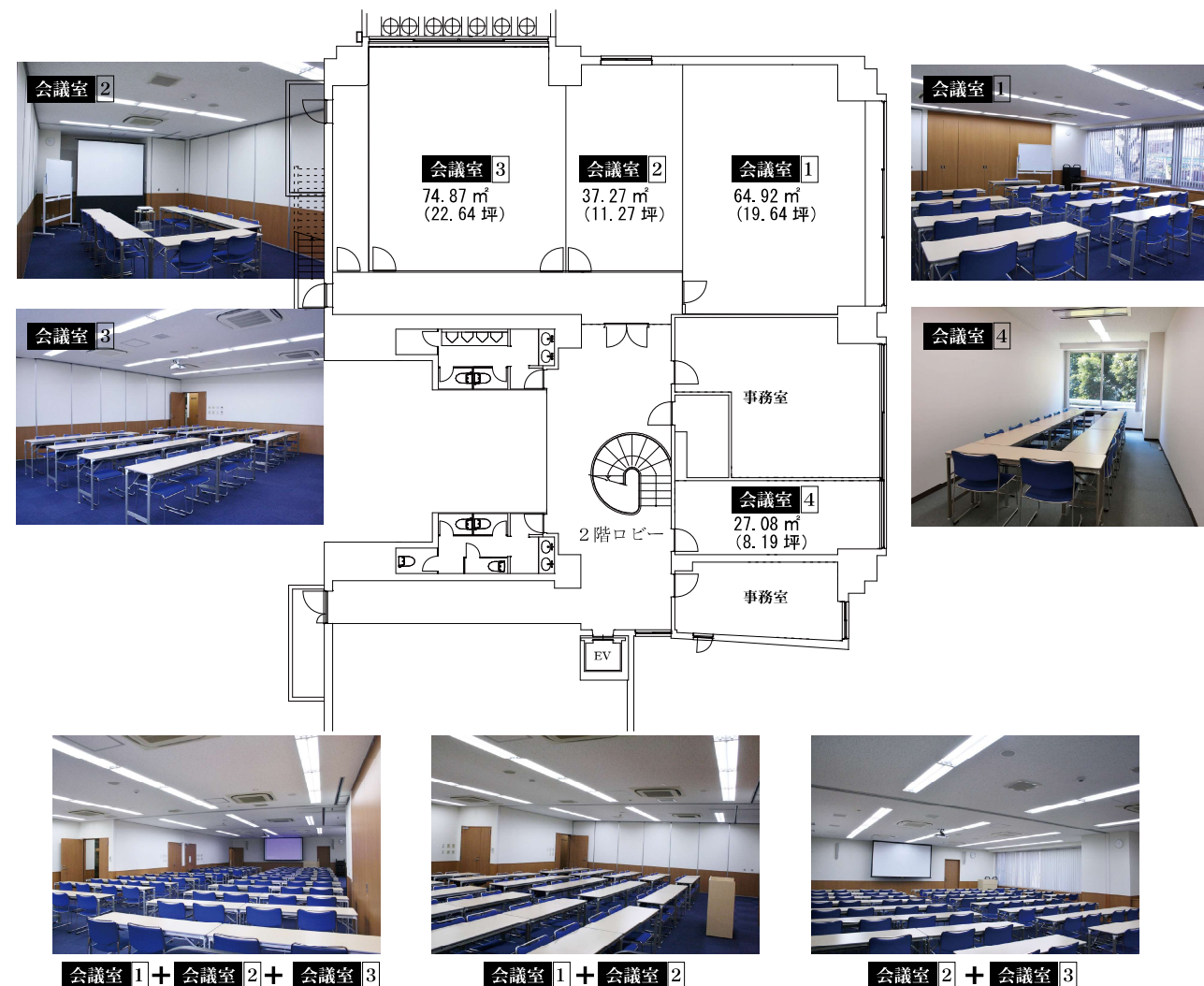
#### (2) 貸会議室の施設運営

インターネットからの予約が9割を占め、利用件数は増加傾向にある。

令和4年度 利用件数：290件/利用時間：2,202時間

令和5年度 利用件数：378件/利用時間：2,492時間

令和6年度 利用件数：496件/利用時間：2,940時間





理事(8名) 令和7年9月21日現在

役 名	氏 名	役職名
理事長	田中恆清	(宗)神社本廳総長
副理事長	吉川通泰	(宗)神社本廳副総長
理 事	打田文博	(公財)昭和聖徳記念財団評議員
理 事	田尾憲男	(公財)交通道徳協会評議員
理 事	大原康男	國學院大學名誉教授
理 事	内田 智	(公財)生長の家社会事業団理事
理 事	齊藤有子(高清水有子)	皇室評論家
理 事	橋本寿史	(株)フジテレビジョン報道局解説員

監事(2名)

役 名	氏 名	役職名
監 事	南部利文	(宗)神社本廳監事
監 事	小關笑子(小関微笑子)	(一社)日本国際文化協会常務理事

評議員(6名)

役 名	氏 名	役 職 名
評議員	間島誉史秀	(宗)神社本廳常務理事
評議員	小佐野正史	(宗)神社本廳常務理事
評議員	日比敏明	(宗)神宮財務部長
評議員	茂木貞純	古宮神社宮司
評議員	加藤健司	民俗芸能学会理事
評議員	松本久史	(学)國學院大學教授

顧問(5名)

役 名	氏 名	役職名
顧 問	鷹司尚武	(宗)神社本廳統理
顧 問	久邇朝尊	(宗)神宮大宮司
顧 問	小林 健	全国神社総代会会長
顧 問	佐柳正三	(学)國學院大學理事長
顧 問	小串和夫	(学)皇學館理事長

理事会	理事会 日 時 令和6年8月27日（火） 午前10時00分～午後11時03分 会 場 神社本庁地下一階会議室 出席理事 5名（田中恆清・吉川通泰・内田 智 齊藤有子・橋本寿史） 出席監事 2名（南部利文・小關笑子）  【報告事項】 1. 前理事会以降の職務執行状況について 2. その他 【審議事項】 1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度決算について 3. 参与の異動について 4. 定時評議員会開催について 5. その他	理事会 日 時 令和7年6月11日（水） 午後2時35分 ～ 午後3時35分 会 場 日本文化興隆財団 会議室 出席理事 7名（田中恆清・吉川通泰・打田文博・田尾憲男 内田 智・齊藤有子・橋本寿史） 出席監事 1名（小關笑子）  【報告事項】 1. 前理事会以降の職務執行状況について 2. 改正公益認定法施行について 3. 評議員の異動について 4. 神道文化検定（神社検定）について 5. 季刊誌『皇室』について 6. 皇居一般参賀国旗小旗配布事業について 7. その他 【審議事項】 1. 令和7年度事業計画（案）について 2. 令和7年度予算（案）について 3. 参与の異動について 4. 臨時評議員会（書面）の開催について 5. その他
評議員会	定時評議員会 日 時 令和6年9月20日（金） 15時30分～16時40分 会 場 神社本庁会議室 出席者評議員 6名（小野貴嗣・藤江正謹・日比敏明 茂木貞純・加藤健司・松本久史） 出 席 理 事 4名（田中恆清・吉川通泰・田尾憲男 齊藤有子） 出 席 監 事 2名（南部利文・小關笑子）  【報告事項】 1. 季刊誌『皇室』について 2. その他 【審議事項】 1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度決算について	臨時評議員会(書面決議) 評議員会の決議があったものとみなされた日 令和7年6月16日  【審議事項】 評議員選任の件 評議員の辞任に伴い、後任の評議員を選任すること。 ①藤江正謹評議員の辞任に伴い 間島誉史秀氏(神社本廳常務理事)を後任として選任する。 ②小野貴嗣評議員の辞任に伴い 小佐野正史氏(神社本廳常務理事)を後任として選任する。
監事会	監事会 日 時 令和6年8月26日（月） 午後3時45分～午後4時40分 会 場 神社本庁三階会議室 出席監事 2名（南部利文・小關笑子） 出席役員 1名（田中恆清）  1. 予備監査報告 2. 令和5年度事業報告及び決算報告 3. 諸帳簿・伝票等照合 4. 監査報告書署名	監事会 日 時 令和7年2月26日（水） 午後3時54分 ～ 午後4時40分 会 場 神社本庁三階会議室 出席監事 2名（南部利文・小關笑子） 出席役員 2名（田中恆清・吉川通泰）  1. 予備監査報告 2. 令和6年度中間事業報告及び中間決算報告 3. 諸帳簿・伝票等照合 4. 監査報告書署名

令和6年度事業報告 附属明細書  
令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。  
令和7年9月22日

公益財団法人日本文化興隆財団